

港南区民文化センター

指定管理者選定評価委員会（第2回委員会）議事録要旨

開催日時	平成27年7月10日（金） 午前10時00分から12時30分まで
開催場所	区役所4階4号会議室
出席者	小野委員（港南区「街の先生」の会 会長） 北村委員（東京地方税理士会横浜南支部 税理士） 笹井委員（国立教育政策研究所） 名和田委員（法政大学 教授） 松本委員（港南区ひまわり管弦楽団 前事務局長）
傍聴者	2名
議題	横浜市港南区民文化センター指定管理者の選定について 1 面接 2 審議
面接審査及び審議	1 面接審査 1 団体のみの応募があり、10分間のプレゼンテーション及び30分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次の通り。 <京急グループ共同企業体> ・限られた人だけでなく、あらゆる世代・人種・性別が離合集散していく、港南区の文化・芸術の総合ターミナル（「駅」）として、機能していくことを目指す。 ・国内外の芸術文化の鑑賞と交流の機会を区民に提供する。 ・教育や福祉の現場と積極的な連携を図り、子どもや青少年の健全育成、高齢者の元気回復などに取り組む。 ・区民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成する。 ・港南地域のネットワークの形成に寄与していく。 ・港南区民の様々な社会参加の機会を創出していく。 ・利用者に対して、きめ細かいサービスを提供し、誰もが気軽に利用でき、快適な時間を過ごせる場を提供する。 ・芸術鑑賞に最適な安心、安全、快適な施設を創り出す運営体制を整え、文化活動の振興に寄与する。 ・効率的で円滑な運営が行えるよう、経営努力にスタッフ全員で取り組む。

	<p>2 審議</p> <p>横浜市港南区民文化センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定評価委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、評点において最低基準を満たしており、京急グループ共同企業体を指定候補者として選定した。</p> <p><委員の主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化的コモンズとしての位置づけを自覚し、アウトリーチ活動に活発に取り組んでおり大変いい方向に向かっている。 ・ 地区センターとの連携を目指して意欲的な試みをしており、今後5年間の発展が楽しみである。 ・ 民間的な良さを生かして文化的専門人や区民の文化「プロデューサー」を育てている。 ・ ホール、音楽ルームなど平日利用が少ない時の対処工夫が見られた。 ・ 事業の方向性がしっかり見えたように感じた。 ・ 今までの実績を土台に、地域を見据えた共同事業を頑張っていただきたい。 ・ 施設の維持管理については特に目新しいものは感じられない。
審議結果	<p>京急グループ共同企業体を横浜市港南区民文化センター指定管理者の指定候補者とする。 (887点/1025点)</p>
特記事項	